

愛称選考会まとめ

- 日 時 平成26年7月29日（火）14時～16時
- 場 所 本庄市役所 5階 504会議室
- 参加者 管理運営ワークショップメンバー17名中、12名
※欠席者5名のうち、2名は第1次選考の投票のみ参加

●概 要

（仮称）市民プラザ跡地複合施設は、市民が主役となり活動する市民交流の拠点施設となる。多くの人に親しまれ、誰でも気軽に立ち寄れるまちの新たなシンボルとなることを願い、平成26年6月16日（月）から7月18日（金）まで全国から愛称募集を行った。管理運営ワークショップメンバーによる愛称選考会を経て、10作品の最終選考作品を決定。

●愛称選考の流れ

【第1次選考】

施設のコンセプトや愛称条件を念頭に、382作品の中からメンバー各自が第2次選考に残したい5作品を選び投票。投票のあった50作品が第2次選考に進んだ。

【意見交換】

第2次選考を行うにあたり、第1次選考において各自どんな基準で5作品を選んだのか意見交換を実施。

【各メンバーの意見】

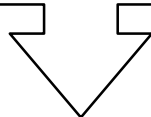
- ・愛称なので『本庄』がつく必要はない。シルクドームなどのように短い名前、4、5文字程度。
- ・はにぼんをもう少し宣伝した方が良さそう。『はにぼん』がついた愛称を中心に選考。『本庄』はつけない。
- ・夢があって、これから羽ばたく、未来に向かって活動できる施設という点に着目。カタカナの愛称は避け、本庄市のPRのために『本庄』がつくものを選考。
- ・市民プラザが多くの人に親しまれていたため、プラザのイメージがある。また、はにぼん。長い名称だと分からないので、『本庄』がついた愛称を選考。カタカナの造語で長い愛称、他で使用されている名称（深谷市など）、聞いたことがある名称は選考しない。
- ・自分や仲間の年代に合わせた、分かりやすく、一度聞いて覚えやすい簡単な愛称を選考。
- ・一度聞いて覚えやすい愛称を中心に選考。
- ・この施設がどのようになって欲しいのかを考え、そのイメージに合ったものを選考。『本庄』を入れるべきか、入れないべきかなども検討。正式名称は別にあり、愛称は何度か聞くと好きになる場合もある。響きの良さや人が集まる場所なので、コンセプトを重視して選考。
- ・『本庄』を必ずつけるという考えで選考。市民プラザでも良い。
- ・『はにぼん』がついた愛称を選考。現在商工会議所では、ゆるキャラの日本一を目指そうという動きがある。盛り上げるためにも、はにぼんを入れた愛称をつけ、日本中に名前を広めてほしい。

- ・親しみやすく、響きが良い点を考慮し選考。インターネットで調べてみたが、ほとんどの愛称が使われている。使われている愛称は選考から外した。はにぼんは大丈夫なので、イチオシ。
- ・本庄を知らない人も応募していると思い、長く馴染んだ名前も選考。
- ・この建物はなんなのだろうかと考えた時、地域・活性化・交流・コミュニティ等がひとつになるとイメージし、本庄交流センターといった名称を考えた。今回は愛称なので、分かりやすく目的に合うようなものを選考。
- ・以前の施設名称である『市民プラザ』を引き継いだ方がよいのか、又は全く違う、新しい趣旨にあった名前の方がよいのか。考え方の問題だとは思いますが、どちらとも言えない。
- ・『本庄』を入れるかどうかをまず話し合うと、かなり絞られるのではないかと。



【第2次選考（得点集計）】

意見交換での他のメンバーの意見等も参考に、第1次選考で絞られた50作品の中から、メンバー各自が改めて5作品を選考し、最終選考に残したい順番に5～1点の得点を付け投票・集計した。



【意見交換】

集計の結果、第2次選考で得点の入った30作品の中から最終選考に残す作品を絞り込むために意見交換を実施。

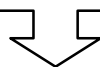
【各メンバーの意見】

- ・『はにぼん』という名前をこの新しい施設で使用した場合、市として『はにぼん』がついた施設名称は今後付けにくくなる。
建物だけが『はにぼん』ではなく、はにぼんのブースを設けたり、はにぼんに関わる運営の形態を目に見える形で行う必要あり。
最終選考に残す作品は10作品程度でよいのではないかと。
- ・1、2作品だけという訳にもいかない、9、10作品程度残すべき。
- ・得点が5点までの作品を残せば10作品となり良いのではないかと。4点までを残すと、17作品まで拡大してしまう。



【第2次選考（結果）】

得点の多かった上位10作品を選定



今後の予定

【最終選考（市役所内部での選考）】

愛称選考会での意見や結果を基に、市役所内部で検討し、第2次選考で絞られた10作品の中から愛称を決定する。